

丸の内会場
+ オンライン
同時開催!機関投資家・アクティビストとの対話
～社外取締役の立場から～

日時 2022年5月19日(木) 14:00～15:30

会場 AP 東京丸の内(東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)
※ オンラインにて同時配信いたします。後日の録画配信も予定しております。参加費 会場参加 : 会員 2,000 円 / 一般 5,000 円 (税込・当日、会場にてお支払いください)
オンライン : 会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

ガバナンス改革の進展の中で、近年、日本でもアクティビストや機関投資家との対話の重要性が飛躍的に高まっています。従来、株主との対話は経営陣の専管事項と考えられてきましたが、最近では株主が社外取締役との直接対話を求める動きが強まっており、コーポレートガバナンス・コードでも社外取締役もエンゲージメントの当事者であるべきことが明記されています。株主との対話への対処を誤ると、株主による経営不信任にも直結しかねません。社外取締役としては、株主がなぜ社外取締役との対話を求めるのかを理解したうえで、経営執行でない立場からの適切なスタンスを踏まえて対応する必要があります。

そこで今回のセミナーでは、海外のアクティビストや年金基金などの機関投資家の考え・動向に詳しい一橋大学の田村教授をお迎えし、皆様と一緒にこれらの課題について考えることといたしました。株主が懸念を抱く経営課題や近年重要性を増す ESG 問題などについて、社外取締役として対株主・対社内の両面で如何に対処すべきかにつき、参加者の皆様からご意見をいただきながら、議論を深めたいと思います。是非ご参加ください。

講師

田村 俊夫(たむら としお)氏
一橋大学大学院経営管理研究科 教授

1986年東京大学法学部卒、日本興業銀行入行。1989年ハーバードロースクール修士。ニューヨーク州弁護士登録。米国弁護士事務所、世界銀行グループ IFC 投融資担当官、みずほ証券投資銀行第7部長等を経て現職。M&A、企業分析、コーポレートガバナンスを専門とする。著書:『MBAのためのM&A』(有斐閣、2009年)、『コーポレートガバナンスと企業・産業の持続的成長』(共著)(有斐閣、2018年)ほか。論文:「アクティビスト・ヘッジファンドと企業統治革命」(証券アナリストジャーナル、2014年)、「日米エンゲージメントの新潮流」(月刊資本市場、2018年)ほか多数。



お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。
メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

今後の勉強会予定 (開催時間と場所は同じです)

第133回 【題目】 [仮題] TCFD など気候変動対応の最新の動き
6月14日(火) 【講師】 追ってお知らせいたします

